

このマップを使った散策ゲームの楽しみ方

- 1 スタート・ゴール地点は、旭川駅の周辺とします。
- 2 制限時間内でスポットをまわり、獲得した点数を競います。
- 3 点数は、距離や訪れやすさによって10～50点に分かれています。
- 4 個人でもグループでも、自由にルールを設定して旭川の散策を楽しんでください!

ルール設定

スタート・ゴール地点

制限時間 : : ~ : :

減点について

制限時間を 分遅れるごとに 点を減点します。

分遅れた時点で失格です。

獲得点数

点

散策する皆さまへのお願い

- 私有地や立入禁止の場所には入らないでください。
- 自然公園内では散策路を歩き、動植物の採取は行わないでください。
- 周囲の歩行者や散策者に配慮した行動をお願いします。

33 突哨山チャシ
 【神居・忠和エリア】旭川市神居町神居古潭
 突哨山の南側は切り立った崖となっており、アイヌの人々の「チャシ」(誓い張り台)があったと言われています。また、この場所には地獄に通ずる穴(アブニル・バロ)があったとの伝説も残っています。
 ◎ 男山公園前

34 レルヒ中佐像
 【神居・忠和エリア】旭川市神居町神居古潭
 オーストリアの軍人レルヒ中佐は、北海道で初めて近代スキー技術を指導した人物。旭川空港に設けられた銅像では、彼が指導していた当時の1本校でのスキーが表現されています。
 ※観光バス乗車券使用不可

35 国見の碑
 【嵐山エリア】旭川市江丹別町嵐山
 明治時代、後の北海道庁長官となった「岩村通俊」らが国見(地勢の調査)を行い、この地の開発を決定した場所。当時、東京・京都・奈良に続く「北京」(北のみやこ)を旭川に置く構想が生まれたきっかけとなりました。

36 養蚕民家
 【永山・東旭川エリア】旭川市東旭川町瑞穂1576番1号
 明治時代に入植した福島県人が、郷里の養蚕民家を模して建てたもの。この建物があられる(ペーパン)地区は、当時、全道屈指の養蚕地でした。伝統的な養蚕技術による工夫がこらされた、建物の内部も見学することができます。

37 トゥッソ(突哨山)
 【東鷹栖エリア】旭川市東山
 「トゥッソ」とは、アイヌ語で「突き出た壁」のTuk-so が転訛した地名とも考えられています。かつてアイヌの人々の生活の場だったところで、数多くの動物の生息が確認されており、道内最大級のカタクリ群落があることでも知られています。
 ◎ 男山公園前

38 上南部水神宮
 【永山・東旭川エリア】旭川市東旭川町瑞穂
 上南部(かみなんぶ)という地区の山すそに祀られている水神の祠。この祠の横から湧き出る水は「目の病を治す御水」と言い伝えられており、地元の人たちが大切に守っています。

39 中鶴根山展望台
 【永山・東旭川エリア】旭川市東旭川町瑞穂888番地
 「旭川市21世紀の森」から遊歩道を進み、標高678mの中鶴根山の山頂にある展望台。晴れた日には、アイヌの人々が「カムイミタラ」と呼んだ大雪山連邦の絶景を望むことができます。

40 就実の丘
 【西神楽エリア】旭川市西神楽4線30号
 四国出身者の入植によって畑作地として開拓された、旭川空港南東の就実地区に広がる景勝地。ジェットコースターの様なアップダウンの道を通ると、大雪山連邦・十勝岳連邦などを一望することができます。

25 カムイコタン(神居大橋)
 【神居・忠和エリア】旭川市神居町神居古潭
 アイヌ語でカムイは神、コタンは村という意味。この地のアイヌの人々を滅ぼそうとした魔神「ニツネカムイ」と、英雄神「サマイェル」の激闘の伝説が残っています。
 ◎ 神居古潭

26 ニツネカムイ伝説の巨岩群
 【神居・忠和エリア】旭川市神居町神居古潭／春志内
 魔神「ニツネカムイ」が、英雄神「サマイェル」によって敗れた痕跡といわれる巨岩があります。刀で切り離されたニツネカムイの頭や胴体、逃げたときの足跡を見ることができます。
 ◎ 春志内

27 神居古潭竪穴住居遺跡
 【神居・忠和エリア】旭川市神居町神居古潭
 アイヌ民族の祖先であったと考えられる、縄文(さつもん)時代の人々の集落と考えられた場所。多くの竪穴住居跡が見られます。近くの山中には縄文時代後期に作られたストーンサークルの跡も残っています。
 ◎ 神居古潭神社前

28 旭川兵村記念館
 【永山・東旭川エリア】旭川市東旭川南1条6丁目3-26
 北海道開拓の大きな役割を担った屯田兵の歴史や生活を紹介する資料館。当時生活に使われていた屯田兵屋が復元されているほか、数々の実際に使われていた生活用品や農機具などが展示されています。
 ◎ 東旭川1条6丁目

29 旭山動物園
 【永山・東旭川エリア】旭川市東旭川町倉沼
 旭川の代名詞となっている日本最大の動物園。「行動展示」と呼ばれる、動物本来の能力や行動などを紹介する展示方法が特徴で、アイヌ民族に関わりの深い動物も多く展示されています。
 ◎ 旭山動物園

30 男山酒造り資料館
 【永山・東旭川エリア】旭川市永山2条7丁目1番33号
 旭川の地酒「男山」の酒造りの歴史などを伝える資料館。江戸時代の貴重な文献や酒器などを展示していて、仕込みの時期には酒造りの様子を見られることもできます。
 ◎ 永山2条6丁目

31 クツネシリ(神居岩)
 【神居・忠和エリア】旭川市神居町神居古潭
 「クツネシリ」とは、アイヌ語で「岩壁になっている山」という意味。英雄神「サマイェル」の誓であったという伝説が残っています。ハイキングコースがあり、上まで行くことができます。
 ◎ 神居古潭

32 キピリヌプリ(上野ファーム)
 【永山・東旭川エリア】旭川市永山町16丁目186番地 上野ファーム敷地内
 「キピリヌプリ」とは、アイヌ語で「水際からそそり立っている崖・山」という意味。明治時代に屯田兵の射撃訓練場となったことから、現在は「射的山」と呼ばれています。山頂からは、広大な田園風景を楽しむことができます。
 ◎ 上野ファーム前 ※ガーデン公開期間中のみ

17 人喰い刀岩・底なし沼
 【神居・忠和エリア】旭川市神居町忠和223-1
 アイヌの人々を夜を夜を襲った「人喰い刀」と、その刀が投げ込まれた「底なし沼」の伝説が残る場所。隣に建っている「水神龍王神社」には、実際にこの地で発見された刀が祀られています。
 ◎ 忠和5条1丁目

18 チカブニ
 【神居・忠和エリア】旭川市神居町忠和 忠和テニスコート
 「チカブニ」とは、アイヌ語で「鳥、いつもいる、所」という意味。鹿さめつかんで飛ぶことができる巨大な鳥がいたという伝説が残る崖壁で、アイヌの人々は、この下を通る際には衣服を正し拜って通過していました。
 ◎ 忠和テニスコート

19 忠別太夫番屋の跡
 【神居・忠和エリア】旭川市忠和4条8丁目
 江戸時代の文化期に、当時の松前藩の商人がアイヌ交易のために設けた見張り番の小屋があった場所。旭川で、本州の出身者(当時は「和人」と呼ばれていた)が関わった最古の史跡と言われています。
 ◎ 旭川大橋

20 鈴木亀蔵居住の地碑
 【亀吉エリア】旭川市亀吉2条2丁目3 亀吉公園内
 明治時代、交易のために旭川へ移住した「鈴木亀蔵」は、アイヌの人々から「カメキチ」の愛称で親しまれていたそうです。そんな彼の住んでいた場所には、そのまま現在の「亀吉」という地名になりました。
 ◎ 亀吉2条1丁目

21 旧旭川偕行社(旭川市彫刻美術館)
 【北星・春光エリア】旭川市春光5条7丁目
 旧陸軍第七師団の将校たちの社交場として建設された、洋風の本格的クラブ建築物。特徴的な外観だけでなく、窓廻りや天井のメダリオンなど、細部にまで意匠がこめられています。
 ◎ 春光公園前

22 上川離宮予定地の跡
 【神楽・神楽園エリア】旭川市神楽園 上川神社境内
 明治時代に、旭川に北の都「北京」を置こうとする北海道庁の考えを踏まえて、政府が皇宮の別宮を建築しようとしていた場所。結果的に建築は実現せず、幻となった上川離宮を物語る碑が残っています。
 ◎ 上川神社

23 チノミシリ(嵐山展望台)
 【嵐山エリア】旭川市江丹別嵐山・上川郡鷹栖町
 「チノミシリ」とは、アイヌ語で「我ら・祈る・山」という意味。アイヌの人々にとつての聖地であり、現在も年に1度、「チノミシカムイノ」と呼ばれる祈りの儀式が行われています。
 ◎ 北野野草園入口

24 北海道スキー発祥乃地
 【北星・春光エリア】旭川市宇近 春光台公園敷地内
 明治時代に、オーストリアの軍人レルヒ中佐によって、北海道で初めて近代スキー技術の直接指導が行われた場所。当時の対象者は、旧陸軍第七師団の将校や民間研究員だったそうです。
 ◎ 春光台公園入口

9 旭橋(旭橋袂広場)
 【中心部エリア】旭川市常盤通 旭橋袂広場
 明治時代に、右狩川右岸側の開墾をきっかけに設置された土橋を祖として、街の発展に伴い何度も変形を変えてきたアーチ橋。時代が移り行く中で、人々の暮らしと見守り続けている旭川のシンボルです。
 ◎ 常盤公園前

10 北鎮記念館
 【北星・春光エリア】旭川市春光町 陸上自衛隊旭川駐屯地内
 屯田兵による開拓の歴史や、旧陸軍第七師団の移駐の経緯などについての貴重な資料が展示されている資料館。旭川の街の発展の歴史を振り返る上で重要なポイントを知ることができます。
 ◎ 鳳凰神社(北海道)前

11 スタルヒン像
 【北星・春光エリア】旭川市花咲町2丁目 花咲スポーツ公園内
 プロ野球界初の外国人選手「スタルヒン」は、幼少期から日本選抜に選ばれ、旭川で育った名選手。彼の活躍を讃えて、「花咲スポーツ公園硬式野球場」(通称:スタルヒン球場)の横には銅像が設けられています。
 ◎ 北高前

12 北の散歩道
 【北星・春光エリア】旭川市大町／旭町／春光
 かつて石炭や木材などを輸送していた鉄道の跡地を利用した散歩道。中間あたりにある広開けた公園は、当時の貨物ヤード(操車場)の名残です。産業発展の歴史の足跡に触れることができます。
 ◎ 大町2条6丁目

13 川村カトアイヌ記念館
 【北星・春光エリア】旭川市北門町11丁目
 アイヌ文化の正しい伝承を目的に設立された、日本最古のアイヌ資料館で、私立としては唯一のもの。かつての暮らしなどを伝える貴重な資料展示のほか、楽器演奏や古式舞踊などの体験を行うことができます。
 ◎ アイヌ記念館前

14 知里幸恵文学碑(北門中学校)
 【北星・春光エリア】旭川市錦町15丁目
 叙事詩ユーカラを「アイヌ神謡集」として世に出し、19才の若さで亡くなった「知里幸恵」の文学碑。北門中学校では、彼女の一家をアイヌ文化と知里幸恵に関する資料室として開放しています。
 ◎ 北門16丁目

15 アイヌ文化の森伝承のコタン
 【嵐山エリア】上川郡鷹栖町宇近9線西4号
 広大な自然公園内にある旭川市博物館の分館。アイヌの人々の植物利用に関する資料展示や、「チモ」と呼ばれる住居などが復元されており、自然と共生していた当時の暮らしに思いを馳せることができます。
 ◎ 北野野草園入口

16 ノチウ
 【神居・忠和エリア】上川郡鷹栖町8線西5号 サイクリングロード
 「ノチウ」とは、アイヌ語で「星」という意味。石狩川に立つ茶褐色の巨岩で、空から星が落ちたときに、その場所を見に行くとその星が立っているというアイヌの伝承が残っています。
 ◎ 北野野草園入口

1 旭川市博物館
 【神楽・神楽園エリア】旭川市神楽3条7丁目
 旭川市をはじめとした北海道の歴史や文化、自然を展示している博物館。アイヌ関連の貴重な資料をはじめ、明治以降に入植した人々の住居や生活道具、旭川の地形や生態系などを紹介しています。
 ◎ 大雷クリスタルホール前 ◎ 神楽4条7丁目 ◎ 旭通道路事務所前

2 三浦綾子記念文学館
 【神楽・神楽園エリア】旭川市神楽7条8丁目
 「氷点」などで有名な作家「三浦綾子」に関する文学資料や歴史などを紹介する文学館。作品の舞台となった「外国樹種見本林」の中に静かに佇んでおり、周辺の散策とともに楽しむことができます。
 ◎ 神楽4条8丁目神楽園広場前

3 旧笠原酒造(日本醤油工業)
 【中心部エリア】旭川市曙1条1丁目302番地
 旭川の酒造りの草分けで、明治時代に、本州から旭川へ移住した初めての人物である「鈴木亀蔵」らが設立しました。昭和時代に入って、当時の政府からの指導によって、酒造りから生活物資である醤油造りへと転換しています。
 ◎ 旭川赤十字病院前 ◎ 曙1条2丁目

4 上川倉庫群(蔵園夢)
 【中心部エリア】旭川市宮下通11丁目
 明治から大正の時代にかけて建てられたレンガ造りの倉庫群。旭川に隣接し、道北の開拓に伴う物流の拠点基地となっていました。現在は「大雷地ビール館」「デザインギャラリー」などとして利用されています。
 ◎ 宮下11丁目

5 高砂酒造明治酒蔵
 【中心部エリア】旭川市宮下通17丁目右1号
 旭川の地酒「高砂酒造」の直売店。明治時代に建てられた旭川最古の酒蔵で、当時の佇まいが残っています。事前に予約すれば、酒造りの工場見学を行うこともできます。
 ◎ 1条15丁目

6 合同酒精旭川工場旧蒸留棟
 【中心部エリア】旭川市南4条通20丁目1955
 大正時代初期に建てられた酒精工場の蒸留施設。当時は「神谷酒造」という名前前で、創業家の「神谷傳兵衛」は、洋酒「電気ブラン」や浅草「神谷バ」の生みの親として有名な人物です。
 ◎ 南5条20丁目

7 手の噴水(平和通買物公園)
 【中心部エリア】旭川市8条通8丁目 買物公園通沿い
 旭川駅前から北に向かって約1kmに渡る「平和通買物公園」は、日本初の恒久的な歩行者専用道路(歩行者天国)。「手の噴水」は、この誕生に併せて設置された買物公園のシンボルの様な存在で、正式名称は「手」です。
 ◎ 旭川市役所前 ◎ 7条昭和通

8 永山武四郎の像
 【中心部エリア】常盤公園入り口
 「永山武四郎」は、明治時代、北海道開拓の大きな役割を担った屯田兵を代表する人物。特に上川地域の発展に尽力し、旭川市北部の村があった場所には、彼の名前にちなんで「永山」と名付けられています。
 ◎ 常盤公園前